

たいない

議会だより

No.68

令和3年5月1日
(2021年)

【題字】坂井 さかい 隼人 はやと さん

荒井浜在住の阿部さんファミリー

左から 汐里 (しおり) さん 小4
里沙 (り さ) さん 3歳
海都 (かいと) さん 小6



令和3年度予算審査特別委員会
会派代表者質問 (4人)
一般質問 (6人)
令和3年 第1回臨時会・第1回定例会 議決結果
常任委員会審査

2~5ページ
6~9ページ
10~15ページ
16~17ページ
18~19ページ

一般会計 163億1,600万円

特別会計 75億6,340万円 企業会計 44億5,633万円



施政方針を述べる井畑市長

第1回定例会

令和3年第1回定例会は、2月18日から3月18日までの29日間の日程で開催されました。

初日は、井畑市長が施政方針で令和3年度に進める7つの項目(1)「子育てと教育」(2)「高齢化する社会への対応」(3)「洋上風力発電事業等の取組」(4)「産業振興」(5)「文化・芸術の振興」(6)「市民協働」(7)「新型コロナウイルス感染症の収束に向けた取組」について述べました。議案の提案説明の後、補正予算1件を可決、人事案件5件に同意し、その他議案は所管の委員会へ付託し審議しました。

3月9日、4会派の代表が「市政運営」等について、代表質問を行いました。

10日と11日には、計6名の議員が市の行政全般について一般質問を行いました。

12日から16日には、予算審査特別委員会を開催し、新年度予算を審査しました。

最終日には、委員長報告を行った後、議案48件、議員提出議案1件を原案のとおり可決しました。

第1回臨時会

令和3年第1回臨時会が1月28日に開催されました。

ふるさと納税寄附金の増額のほか、新型コロナウイルスのワクチン接種に要する経費や新型コロナウイルス感染症対策として、市内飲食店、酒小売店への給付金、タクシー事業者等への支援金などを盛り込んだ補正予算を審議し、原案のとおり可決しました。

令和3年度に実施する主な事業

○子育てと教育

・小学校共通施設整備事業 1億5,863万円

市内小学校の必要な施設改修工事等の実施と中条小学校の改築工事に関連する設計を行う。

○高齢化する社会への対応

・各種がん検診等健康診査事業 3,285万円

各種がん検診の実施と受診率の向上を図り、早期発見・早期治療につなげていく。

○市民協働

・合併振興基金運用益活用事業補助金交付事業 803万円

合併振興基金運用益を活用し、市民が自主的に実施する地域活性化の取組に対して補助金を交付する。

○新型コロナウイルス感染症の収束に向けた取組

・新型コロナウイルスワクチン接種事業 1億1,858万円

ワクチン接種対策チームを設置し、県・医師会等と連携しながらワクチン接種を実施する。

○洋上風力発電事業等の取組・産業振興

・洋上風力発電誘致事業 61万円

再生可能エネルギーの推進と地域経済の活性化に資するため、洋上風力発電事業の誘致に向けた取組を実施。

・農業創意工夫応援事業補助金交付事業 500万円

創意工夫により新たな取組に挑戦する農業者を支援し、農業の活性化を図る。

・中小企業等支援補助金交付事業 482万円

創業、人材の育成・確保、市内への就職定住、販路開拓などへの支援により、意欲ある事業者を育成する。

○文化・芸術の振興

・史跡整備事業 1,470万円

「城の山古墳」の整備基本計画を策定し、区域の史跡用地を購入する。

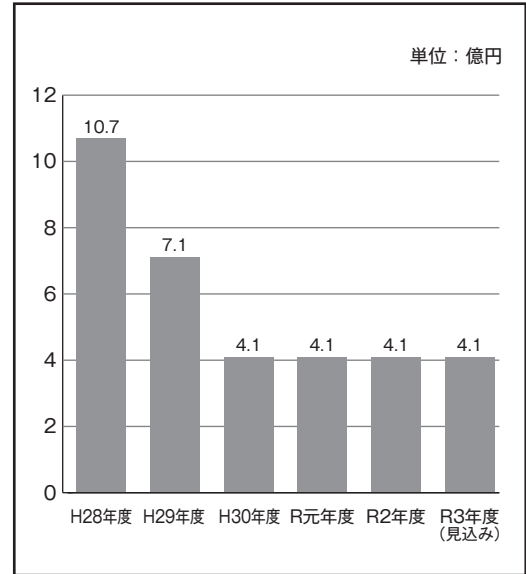
・産業文化会館事業 6億2,317万円

長寿命化計画に基づき、多目的ホールの吊り天井や劣化した設備の改修等に係る設計・工事を実施する。

令和3年度 当初予算を可決

○令和3年度 各会計予算

会計区分		予算額	前年度比
一般会計		163億1,600万円	1.3%
特別会計	国民健康保険事業	31億2,860万円	0.8%
	後期高齢者医療	3億3,050万円	△1.0%
	介護保険事業	36億4,150万円	2.6%
	黒川診療所運営事業	5,650万円	△2.1%
	地域産業振興事業	2億6,010万円	△12.7%
	鹿ノ俣発電所運営事業	1億4,620万円	2.2%
企業会計	公共下水道事業	18億7,921万円	2.3%
	農業集落排水事業	11億3,970万円	△1.2%
	水道事業	10億8,539万円	0.3%
	簡易水道事業	3億3,766万円	5.2%
	工業用水道事業	1,437万円	△5.6%



企業会計は、収益的支出及び資本的支出の合計額を記載。

市の貯金にあたる財政調整基金の推移

「事業見直し」により、6,000万円を削減

胎内市が将来にわたって持続可能な行財政運営を行うため各種事業の見直しが行われ、10事業（一般会計9事業、特別会計1事業）6,062万円が削減されました。

◇見直し事業一覧（主なもの）

事業名	見直し内容	削減額
非常備消防一般	消防団員の減少や高齢化が進んでいる状況を踏まえ、組織体制の見直しや消防団員の処遇改善を進める。また、団員定数を削減することにより、退職報償負担金等の削減を図る。	99万円
市立保育園事業	胎内市保育施設等適正配置問題審議会の答申を踏まえ、保育園の再編等について検討した結果、令和3年4月1日から日の出保育園を民営化する。（※削減額については、令和元年度の実績を基に推計）	3,600万円
各種がん検診等健康診査事業	国の方針に合わせ胃部内視鏡検診について、令和3年度から2年に1回に変更する。	201万円
特産品推奨事業	市の特産品である食肉加工品について、必要性、有効性の検証を経て、令和3年度からは民間事業者が自主営業する。	1,425万円
堆肥センター運営事業	生産、販売、散布作業まで一貫して行う体制の下、農業者へのサービス向上につながる効率的な運営を行い、長期的な資源循環型農業の推進を図るため、令和3年度から胎内市農業協同組合へ施設の貸付を行い、管理運営を移行する。	180万円
住宅建築リフォーム補助事業	住宅建築リフォーム補助金について、補助率の見直しを行う。	200万円
胎内ライフル射撃場管理事業	利用状況に応じた開館日に見直して効率的な運営を行うことで、経費の削減を図る。	93万円

令和3年度予算審査特別委員会

令和3年度胎内市一般会計予算をはじめとする12会計の予算について、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、3日間にわたり審議を行いました。主な質疑を紹介いたします。

一般会計（3月12日）

総務費

質問 デマンドタクシーへの負担金が昨年より増額した理由は。

答弁 国からの補助金の減額に加え、一般タクシー料金の値上がり等の理由から増額した。

質問 デマンドタクシーの利用者数の推移は。

答弁 コロナ禍での外出自粛や医療機関の受診を控えるなどにより、前年度と比べ2月時点で8.5%減、8千343人減少している。

質問 胎内市でマイナンバーカードを所持している人数は。

答弁 2月末時点で5千408人に交付している。交付率は18・69%である。

質問 黒川体育館の解体が予算計上されているが、解体後の跡地の利用計画は。

答弁 現時点では、明確なプランはない。



令和3年度に解体予定の黒川体育館

質問 定住自立圏での婚活事業の今後の進め方は。

答弁 感染予防を施しながら婚活事業を実施していく。来年度は新たに大学生を対象としたイベントを計画している。

質問 選挙の投票事務等に大学生等のアルバイトを雇っている市があるが、当市の考えは。

答弁 実際に投票立ち合い等を行うことで若年層の投票率の向上に繋がると想定されることから、今後検討していく。

民生費

質問 中条すこやかこども園では、柱や床にささくれなどが目立ち、裸足では危険なため園児は室内履きで対応している。改善する考えは。

答弁 今後、速やかに対応する。

質問 コロナ禍の影響により生活保護者が増加傾向にあるが、当市における生活保護世帯数は。

答弁 令和元年度末時点で被保護世帯は121世帯139人であった。今年2月末では、107世帯125人に減少している。

質問 今後、生活保護の申請が増え、予算が不足した場合の対応は。

答弁 予算措置して、支援が必要な人にはしっかりと対応していく。

衛生費

質問 健康診査集団検査委託料が増額になっている理由は。

答弁 検診の結果説明会の時にぶれすば胎内の職員の方にウォーキングの指導をしていただく計画をしているため。



質問 特定不妊治療助成金が減額されているがその理由は。また、制度の利用状況は。

答弁 来年度からは、県の補助が手厚くなり、市の負担が少なくなるため。平成30年度9人、令和元年度11人、令和2年度7人に助成した。

質問 豚舎等の臭気測定について、次年度の新たな取組は。

答弁 夕方の臭気測定を11事業場全てで実施する。

商工費

質問 樽ヶ橋遊園に新たな動物を導入する計画は。

答弁 「オウム」と、ふれあえる動物として「シマリス」の導入を計画している。

土木費

質問 公園照明設備工事の内容は。

答弁 笹口浜公園に照明設備の設置を予定している。企業版ふるさと納税を活用し整備する。

教育費

質問 産業文化会館の大規模改修の内容について。

答弁 令和3年度は、屋上の防水工事と外壁の改修を予定している。また、多目的ホールの改修については、設計に時間を要するため、令和3年度は設計を行い、令和3年度末に入札、令和4年度に工事实施を予定している。



中条中核工業団地内にある笹口浜公園

特別会計（3月15日）

国民健康保険事業

質問 人間ドックや脳ドック等の疾病予防助成についての実績と見込みについて。

答弁 前年同月の比較で人間ドック受診者は昨年839人に対し、今年702人で約130人減少した。脳ドックは昨年36人に対し、今年は26人であった。来年度は、ワクチン接種が進められ、以前のような受診状況に戻ることを想定している。

介護保険事業

質問 施設介護サービス給付費が前年より増額しているが、要介護3以上の方の人数と施設に入所されている人数は。

答弁 要介護3以上の方は716人で、その内約400人が施設に入所している。

質問 介護施設の利用者1人当たりの保険給付額はいくらか。また、在宅介護の場合の給付額は。

答弁 施設利用の1人当たり給付月額は平均27万7千円、在宅では平均9万5千円である。



企業会計（3月16日）

水道事業

質問 水道料金の支払い方法の割合は。

答弁 口座振替が約80%、コンビニ納付が15%、納付書払いが4%、窓口払いが数件ある。

質問 将来、水道事業における民営化の可能性については。

答弁 水道はライフラインの最たるもので健康にも関わることから慎重に進めなければならぬが、それらを担保でき、市民にメリットがあるのであれば今後考えていくべきである。

政和会



渡辺 俊 議員

新型コロナウイルス感染症について

議員 今年度の事業の執行状況は。

市長 コロナ禍の影響により、職員の業務量が増加したが、感染症対策事業の実施に起因して執行が遅れている事業はない。

議員 経済支援策のための財政出動による市政運営方針への影響は。

市長 基本的に経済支援を含む感染症対策は、国の臨時交付金を活用して事業を実施していくものと考えている。

議員 生活困難に陥っている市民の方々の把握と具体的な支援策は。

市長 市のまるごと相談窓口の

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

ほか、民生児童委員、社会福祉協議会のせいかつ応援センター等の関係機関からも情報提供を頂きながら、支援が必要な方の把握に努めている。
救済制度については、生計の維持が困難になるおそれがある



場合に生活資金の貸付を行う生活福祉資金特例貸付制度、失業や休業などで収入が減少したことにより家賃等が支払えず、住居確保が困難となっている方に住居確保給付金制度があり、それぞれ支援を行っている。

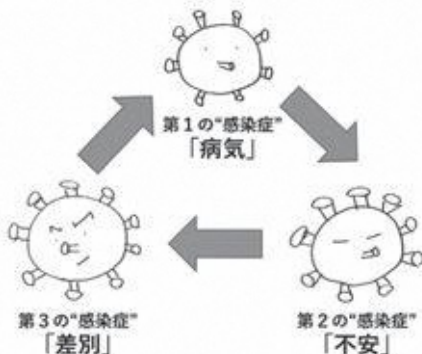
就労支援として、離職、失業された場合には、失業手当の申請や求職活動への支援、ハローワークが提供する離職者訓練や求職者支援訓練の受講への働きかけを行うなど、それぞれ必要な支援に努めている。

議員 ポストコロナを見据えた総合的な対策の計画は。

市長 厳しい財政状況の中で行財政運営を行っていくにあたり、将来収支の見通しや方針を示す財政計画は必要と考えている。これまで新たな計画の策定に向けて作業を進めてきたが、コロナ禍の状況により社会情勢が大きく変化したことで、歳入歳出の見通しや今後の事業の方向性などについて、改めて検討する必要があること、また令和3年度において、胎内市公共施設等総合管理計画に基づく個

別施設計画を策定する予定となっており、その内容も重要な要素として計画し考慮すべき点であることから、盛り込むべき内容をしっかりと捉え、令和3年度中には策定していきたいと考えている。

3つの“感染症”はつながっている



【その他の質問】

- ・ 施政方針について
- ・ 市政について

緑 風 会



渡辺 宏行 議員

市政運営と財政の健全化計画について

議員 市長就任後4年目を迎えるが、就任時に市政運営の柱として掲げた、未来への投資・市民協働・選択と集中について、市長自身の評価は。

市長 自己評価について、内容的には、長い時間軸で取り組んでいかなければならない施策もあるが、全体としておおむね順調に推移していると認識している。

議員 財政健全化計画（5か年計画）について、平成30年以降策定されていないが、策定の考えは。

市長 厳しい状況が続いている財政運営を、今後行っていくに

当たり、将来収支の見通しや方針を示す財政計画は必要になってくる。遅れ気味になったが、令和3年度中に、新たな財政計画を策定したいと考えている。



胎内市役所

小中学校の在り方検討について

議員 「胎内市立小中学校の適正規模等に関する検討委員会」では、小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本的な考え方と実現に向けた、具体的な方策について検討するとしているが、基本方針の策定を考えているのか。

教育長 検討委員会での議論を踏まえ、市長との協議のうえ、市としての学校の適正規模等の基準を定めるとともに、これに基づいた、市における小規模校の対応に関する基本的な考え方や方向性などをまとめた基本方針の策定を考えている。

新型コロナウイルスワクチン接種について

議員 現時点での接種スケジュールと接種を担当する医師の人数は。

市長 国の通知によると、全市町村にワクチンが配付されるのは、4月26日以降と示された



市内中学校

が、配分されるワクチンの量については不透明である。

ワクチンの配付時期や量が明確になった時点で、接種券や予約票を発送し、予約の受付を開始する。医師の人数は13名。

議員 市民への情報提供と対象者への周知・啓発の考えは。

市長 国・県と同様に周知・啓発することに加え、接種券を発送した後は、専用のコールセンターを開設し、ワクチン接種に対する様々な相談や問い合わせの窓口対応を実施していく。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

日本共産党



丸山 孝博 議員

大雪対応について

議員 今冬の雪は記録的な大雪になり、道路の除雪作業が間に合わない、農家のビニールハウスの倒壊被害、屋根の雪下ろしに対する問題など、市民の様々な不安や要望の声がある。

①大雪は災害であるという認識で、防災無線やホームページで情報提供、注意喚起すべきでないか。

市長 防災無線により年末年始に2度警戒の呼びかけをした。除雪環境を整えるための外出自粛などの呼びかけも検討したい。
議員 ②雪下ろし時命綱を固定するアンカー設置費用に補助を。



屋根に積もった大雪

市長 事故を未然に防ぐためにも制度化に向けて検討を進める。
議員 ③ビニールハウス倒壊の撤去・再建費用の支援を。
市長 被害状況の全容把握に努め、検討を行って支援の方向性を定めたい。

ゼロカーボンシティについて

議員 全国的には29都道府県235自治体が表明しているが、胎内市としても表明してはどうか。

市長 既に脱炭素社会の実現にかじを取っている。表明の適期として洋上風力発電について国から協議会に着手する有望な区域として選定された段階などが適期と考えている。

生活困窮世帯に食料支援を

議員 コロナ禍から市民の命と暮らしを守るため、国の臨時交付金を活用し食料支援を行うべきでは。

市長 現在、市内において簡易的なフードバンク事業の実施を検討している福祉事業者がおり、具体的協議を進めたい。

PCR検査の実施を

議員 保育施設や高齢者施設及び病院等での感染拡大を防ぐためPCR検査を行うべきでは。

市長 一斉の定期的な検査は有益性に乏しい。

坂町病院眼科医確保について

議員 県立坂町病院で診察していた新潟大学の眼科医が新年度から診察しなくなり、手術や入院ができなくなる。市民の健康、地域医療を守る立場で解決すべきでは。

市長 新潟大学や県の医師の状況を確認しながら、坂町病院活性化促進大会等において医師の充足について要望する。



県立坂町病院

公明党



渡辺 栄六 議員

移住定住促進の取組について

議員 自然豊かな環境等を活か
し、希望者のニーズを的確に捉
えた移住定住促進事業の戦略的
な取組みは。

市長 地域の魅力を高め、胎内
市で暮らすことに安心や喜び、
誇りを感じることでできる各種
施策を講じ、移住定住の促進を
進めて行けるよう取り組んでい
きたい。

議員 地域の特性を活かした
ワーケーション促進の取組み
は。

市長 訪れた方に胎内市をふる
さとと感じていただけるよう、
新たな里山での働き方や遊び方
を提案することとしており、将

来的には交流人口、関係人口の
増加につながっていくことに期
待している。



ワーケーション整備を進めているロイヤル胎内パークホテル

学校教育について

議員 児童生徒へのタブレット
端末の配備状況と、ICT支援
員の確保は。

教育長 昨年12月末までに全小
中学校へ端末を配備し、1人1
台の端末を利用できる状況にな
っている。ICT支援員につい
ては、学校現場の状況を把握し
て、必要とされる支援内容を精
査し、適切な人材の配置に努め
ていきたい。

新型コロナウイルス

ワクチン接種体制について

議員 ワクチン接種会場の確保
については。

市長 集団接種の会場としては
ぶれすぼ胎内を予定しており、
個別接種については現在、各医
療機関と調整中である。また、
職場接種についても、医師と連
携を取って実施できるよう進め
ていきたい。

議員 接種会場や診療所まで移
動が困難な高齢者や障がい者、

要介護者等への接種方法は。

市長 接種会場に向かうための
交通手段がない高齢者等に対し
ては車両を手配して送迎を行う
予定である。また、障がいのであ
る方等の支援が必要な方に対し
ては福祉車両による支援もして
いく。



ワクチン集団接種会場予定のぶれすぼ胎内

大雪対策について

議員 道路除雪後、住宅地前に
残された雪を高齢者世帯等で片
付けるのは困難だが対応策は。

市長 高齢者や要介護世帯に対
しては十分な配慮をして除雪の
手法を確認し、対応していく。



羽田野 孝子 議員

新型コロナウイルスワクチン 接種体制について

議員 国は6月末までに高齢者の2回接種が終わる予定としているが、市の対象者数、実施方法等について。

市長 16歳以上の市民2万5千246人が対象で、集団接種と個別接種の併用で、個別はかかりつけ医で集団はぶれすば胎内を予定している。接種券発行時に日時・予約方法等を案内する。
議員 接種率を上げるには介護施設・職場・高校等でできないか。

健康づくり課長 介護施設は市外の方も受けられる。職場でも受けられるようにしたい。高校は市外の方は接種できないので

考慮が必要である。

議員 在宅介護で往診を受けている方は往診時受けられるか。
健康づくり課長 かかりつけ医にお願いしたいと考えている。



ワクチン保管冷凍庫

福祉タクシー利用券の 交付対象について

議員 身体障害者手帳3級の一部（下肢・体幹・脳原性運動機能障害）は他の市町村では該当しているが当市では対象外になっている。該当できないか。

市長 社会福祉協議会が実施主体となって事業を行っている。交付件数は、身体障害者手帳1・2級の方80人。療育手帳の方35人。精神障害者保健福祉手帳の方60人である。身体障害3級の一部の方は120人であり、車を運転したり公共交通機関を利用している方もいるが、65歳以上が9割であり、高齢者に広く支援が必要と考える。今少し検討する。
議員 検討して前へ進めるといふことか。
市長 ニーズをしっかりと見定めてからになる。

胎内市公営住宅等 長寿命化計画について

議員 令和3年度から10年間の計画が策定されるが、市が行う行政評価の施策評価シートでは進捗度が最も悪い評価であったが、どう打開するのか。

市長 待機者は、昨年の68件から、他に入居や取り下げで24件に減少した。来年度から、国の交付金を活用して鳥坂団地の大規模修繕を計画している。本計画では定期的点検による予防保全的な維持管理をしていく。



農業振興について



森田 幸衛 議員

議員 今冬の記録的な暴風雪、大雪によりビニールハウス等の農業施設に多くの被害が発生したが、胎内市における被害件数や被害額、被害を受けた農家に對する胎内市の支援策についての考えは。

市長 現在把握している範囲で90件、被害額は約8千万円程度と見積もっている。被害の状況や規模の全容を確認した後、国の支援事業の活用に加え、市の支援策について要件なども検討しながら、農家の方々の損失の補填を行っていく基本方針である。

議員 国が示した支援策が適用

される件数と被害額は。

農林水産課長 国の支援策が受けられる可能性がある件数は33件、被害額は3千400万円程度の見積りになっている。

議員 コロナ禍で苦戦している切り花農家を支援する方策として、チューリップの切り花等を



大雪で倒壊したビニールハウス

議員 コロナ禍で苦戦が続いている飲食店が行っているテイクアウト（お持ち帰り）メニューの成果は。

コロナ対策について



市役所玄関に飾られたチューリップ

買い上げ、市役所玄関ロビーに飾り、来庁者の心を和ませると同時に希望者に花をプレゼントする考えは。

市長 今後の支援の必要性を見定め、農家の方のコロナ禍による所得の減収を補いながら、胎内市産の花弁に対する認知度、需要喚起等の効果ある支援策を様々に検討していく。

市長 飲食店応援プロジェクトとして28店舗が参加し、昨年3月から6月までの期間において、市から事務的経費に対する支援をさせていただいたが、期間中のテイクアウトメニューの売上げは総額で1千100万円に上った。

議員 弁当等のテイクアウト商品を店舗から各家庭等に配達するデリバリー（宅配）事業を支援、創設する考えは。

市長 デリバリーの支援策については、第3次地方創生臨時交付金の活用事業として関係団体と協議することを考えてみたいと思う。



飲食店のテイクアウト・宅配メニュー

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



坂上 隆夫 議員

黒川堆肥センターについて

議員 堆肥の生産から販売、散布まで一貫した作業により農業者への堆肥供給体制の向上と効率のよい施設運営を行うこととして、来年度からJA胎内市に管理、運営を移行することだが、何か問題点がないか伺う。

市長 管理運営に関しては直接的に関与することはできないが、土づくりの推進による農作物の安定生産や品質向上と資源循環型農業の推進などの側面支援、それらについて意見交換を行って、地域の農業が今後も振興が図られていくように努めて行く。



黒川堆肥センター

フラワーパークについて

議員 花壇の一部を開放して市民、団体に貸し出す考えはないか。また、高齢者の健康増進や生きがいをづくりの観点からフラワーパークを利用しての農福連携の取り組みの考えはないか伺う。

市長 健康増進や生きがいづくりとしての作業は大変高齢者の方々中心に望ましいものであり、希望者には開放スペースの提供も進めていきたいと考えている。農福連携については、話をいただいているものもあるが、関係団体と協議をし、活動が可能であるならば範囲を定め、連携を進めて行きたいと考えている。今後も園内の管理を行いながら、自然の中で草花に親しみ、憩いの場として楽しんでいただけるよう市民に広く周知もしていきたい。

老朽化した看板について

議員 老朽化した観光案内看板の撤去工事が計上されたが、観光総合案内の大事な看板だと思ふ。更新の予定はあるのか伺う。

市長 指摘の看板については付近にエリア内を広く案内する総合看板は多くないことから、リニューアルも含めて検討したい。
議員 看板の管理はどのようにしているのか伺う。

市長 強風などの天候状況により随時、適時に職員が見回りをしながら状態を確認し、その傷み具合により改修を検討している。



市内の看板



小野 徳重 議員

リゾート施設の運営について

議員

スキー場利用者から道路除雪の不備、チケット売り場の混雑、リフトの一部運転休止、食堂メニュー等に不満の声が出ているが、そのような声は承知しているか。また、スキー場を通年利用できるように検討するべきと思うが市長の考えは。

市長

様々な意見があることは承知している。短時間に多くの雪が積もったことと、予想を大きく上回る来客により不満につながる混雑となった。今シーズンの運営をしっかりと検証し魅力あるスキー場にする。また、通年利用については、オールシーズン胎内の標語の下で胎内

リゾートと協議し、できるものから実施したい。



ロイヤル胎内パークホテル

議員

新型コロナウイルス感染拡大により宿泊業界の受けたダメージは大きく、ロイヤル胎内パークホテルも同様と思うが、今後どのように集客を図り健全経営していくのか。

市長

コロナ禍での集客は難しいが、昨年からグランピングやワーケーションなどの試みを始めている。合宿や修学旅行の誘致など稼働率を上げる取り組みを継続しつつ、業務の効率化を図り収支の改善に努める。

小中学校のスキー授業

について

議員

スキー授業は子どもたちの心身の成長を促すだけでなく、生涯にわたって運動に親しむ資質、能力の育成に繋がる。学習指導要領において、スキー授業は自然と関わりの深い運動指導で、学校や地域の実態に応じて積極的に行うことと明記されているが、胎内市ではこの指導要領を踏まえ、どのように指導しているのか。

教育長

積極的に雪遊びやスキーなどの授業を行っている。地域の環境や自然への理解、生涯スポーツへの接続のためにもスキー授業等は重要であるという認識の下、今後もその充実を図っていく。



スキー授業の様子

【その他の質問】

- ・スマート農業への転換について
- ・新型コロナウイルスワクチンの接種について



坂上 清一 議員

子育て支援事業について

議員 ひとり親世帯数及び支援が必要な世帯をどのように把握し、世帯に合った支援を実施しているのか伺う。

市長 令和2年度267世帯に対し、新型コロナウイルス感染症による子育てに対する負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、ひとり親世帯臨時特別給付金を支給し、マスクの配布も行った。また、就労支援として安定した収入が期待できる資格を取得するための養成機関での修業や講座等の受講に対して給付金を支援している。今後は、ひとり親の方々に対してアンケートによる生活実態調査を実施し、その

結果をつぶさに確認した上で、重点的に取り組む内容を絞り込んでいきたい。また、寄せられた相談については、関係機関で情報共有を行い、個々の世帯に応じた支援内容を検討している。具体的な支援としては、生活福祉資金の貸付けや保護者への就労支援、子どもへの学習支援や第3の居場所の利用などがある。

農業振興について

議員 多面的機能支払制度に参画する団体における当市の現状と今後の在り方について伺う。

市長 高齢化や後継者不足等の課題があることから近隣の組織同士が連携し、農地の維持や景観形成など、多面的機能を保全するための共同活動に取り組める環境を整え、活動組織の実情を踏まえた支援策を提案し、活動が継続されるよう努める。



田植えの様子

胎内スキー場の運営について

議員 今シーズンの入り込み者数及び経営状況並びに来シーズン以降のスキー場運営をどのように考えているか伺う。

市長 3月7日時点における来場者数が7万370人、税込みの売上額が1億3千424万5千円であった。来シーズン以降もゲレンデ、設備などの維持管理をしっかりと行い、末永く運営することとで、クラウドファンディングに協力いただいた方々、市民の方々のお気持ちに込めていく。



スキー客で賑わう胎内スキー場



八幡 元弘 議員

洋上風力発電について

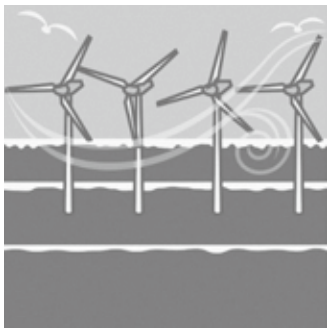
議員 誘致するメインの目的は。

市長 地球温暖化抑止のための方策の一つであり、再生可能エネルギーの中核的役割を担う洋上風力発電に先駆的に取り組んでいきたい。これに付随して、関連する事業分野での一定の雇用創出や新たな産業振興、観光スポットとしての可能性、固定資産税などの自主財源の確保、経済波及効果も期待している。そして、地域の誇り、シビックプライドにもつながることを期待して推進を図っていきたい。

議員 誘致に成功し、運転開始まではどのくらい期間を要するのか。

市長 有望な区域と認められ、協議会を立ち上げ、一般的には

そこから促進区域の指定に1年、事業者の選定に1年、環境アセスメントや事業計画の詳細検討、建設工事から運転開始まで6年から8年程度を要すると言われている。



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

生涯学習施設

について

議員 検討委員会を立ち上げているが、活動状況や進捗状況は。

教育長 令和元年8月に検討委員会を設置し、令和2年3月までに委員会を3回、市民参加型のワークショップを3回開催。

令和2年6月にはコロナ禍のため書面により、各委員から意見聴取し、委員会として構想の概要をまとめている現状である。

※PPPやPFI手法等の活用も視野に入れ、民間からのアイデアも聞くなどして構想の検討を重ねていきたい。

議員 施設の具体的内容として、図書館と公民館の他にどのような機能、役割を考えているか。

教育長 現段階では、図書館、公民館に加え、多世代が集い、交流の輪が広がるような機能も兼ね備えた施設にしてはどうかと考えている。多くの市民が交流の場として足を運んでくれるような仕組みづくりなども考え合わせ、議論を深めていきたい。



胎内市図書館(昭和33年建築)



中央公民館(昭和35年建築)

【その他の質問】

- ・ふるさと納税について
- ・クラウドファンディングについて

※PPP/PFI

PPPは、公共と民間事業者が連携して公共サービスを提供する手法。PFIはPPPの代表的な手法で、民間の資金とノウハウを活用して公共施設等の設計や建設、維持管理及び運営を行う手法のこと。

令和3年 第1回臨時会議決結果

全会一致で可決された議案

令和2年度補正予算

- ・ 令和2年度胎内市一般会計補正予算（第15号）【専決】
- ・ 令和2年度胎内市一般会計補正予算（第16号）

令和3年 第1回定例会議決結果

全会一致で可決された議案

令和3年度当初予算

- ・ 一般会計予算
- ・ 国民健康保険事業特別会計予算
- ・ 後期高齢者医療特別会計予算
- ・ 黒川診療所運営事業特別会計予算
- ・ 地域産業振興事業特別会計予算
- ・ 鹿ノ保発電所運営事業特別会計予算
- ・ 公共下水道事業会計予算
- ・ 農業集落排水事業会計予算
- ・ 水道事業会計予算
- ・ 簡易水道事業会計予算
- ・ 工業用水道事業会計予算

条例の一部改正

- ・ 税条例の一部を改正する条例
- ・ 道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例
- ・ 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 市立認定こども園条例の一部を改正する条例
- ・ 国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ・ 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

その他

- ・ 財産の無償譲渡について【東牧・土地及び都市交流施設】
- ・ 財産の無償譲渡について【笹口浜・土地】
- ・ 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更【黒川東部辺地】
- ・ 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更【築地西部辺地】
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定【たけじま地域ふれあいセンター】
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定【柴橋地域ふれあいセンター】
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定【下館集落開発センター】
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定【黒俣集落開発センター】
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定【蔵王集落開発センター】
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定【東牧生活改善センター】
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定【近江新生活改善センター】
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定【塩沢生活改善センター】
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定【持倉生活改善センター】
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定【下江端生活改善センター】
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定【坪穴集落センター】
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定【塩谷集落センター】
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定【宮久多目的交流センター】
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定【前山台集会所】

令和2年度補正予算

- ・ 一般会計補正予算（第17号）
- ・ 一般会計補正予算（第18号）
- ・ 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- ・ 介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
- ・ 黒川診療所運営事業特別会計補正予算（第3号）
- ・ 地域産業振興事業特別会計補正予算（第2号）
- ・ 鹿ノ保発電所運営事業特別会計補正予算（第2号）

条例の制定

- ・ 手話言語及び障がいの特性に応じたコミュニケーションの促進に関する条例
- ・ 森林環境譲与税基金条例

条例の廃止

- ・ 都市交流施設条例を廃止する条例
- ・ 胎内農畜産物加工施設条例を廃止する条例
- ・ 堆肥センター条例を廃止する条例

人事案件

- ・ 村松浜財産区管理委員の選任（5件）

議員提出議案

- ・ 胎内市議会会議規則の一部を改正する規則【提出者：森田幸衛議員】
 内容：女性をはじめとする多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備を図るため、本会議や委員会への欠席事由に育児、看護、介護等を明文化するとともに、出産について産前・産後期間にも配慮した規定の整備をするもの。
 また、市議会に対する請願に係る署名押印の見直しを行うもの。

賛否が分かれた議案

議案名	議員名													議決結果	賛成※	反対※	
	渡辺栄六	坂上隆夫	羽田野孝子	森本将司	八幡元弘	渡辺秀敏	坂上清一	小野徳重	薄田智	森田幸衛	渡辺俊	桐生清太郎	渡辺宏行				丸山孝博
市長提案 令和3年度介護保険事業特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	12	2
介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決	12	2

※ ○：賛成、×：反対 ※ 地方自治法第116条の規定により、天木義人議長は表決には参加しません。
 ※ 全会一致で可決された議案については、議決結果表を省略。

議第5号
令和3年度胎内市介護保険事業特別会計予算
 介護保険条例の一部を改正する条例
 討論

反対討論
 丸山孝博 議員

介護をめぐって問われているのはコロナ危機への対応である。コロナが猛威を振るう中、みんなが医療介護の大切さを痛感し、重症化しやすい高齢者の命を守ろうと必死の努力を続けている。その最中、65歳以上の介護保険料を9%も値上げすることは認められない。介護保険制度が

始まって21年になるが制度当初と比べて基準額で25倍の保険料になる。この間、年金は下げられ、消費税は増税されるなかでこれ以上の負担増は耐え難い問題になっている。据え置いた場合2億円必要とのことだが基金が3億円もあり、この一部を取り崩すだけで値上げは回避できるので議案には反対である。

賛成討論
 森本将司 議員

後期高齢者の人口増加により、介護保険料は年々増加している状況にある。本市における高齢化のピークはさらに先であり、今後主要介護認定者が増加し、施設介護サービスのニーズが高まることを考えると、保険料を主な財源とする介護保険事業を健全に維持していくためにも、保険料の引き

上げは必要となる。今回の改訂ではサービスを低下させることなく必要とする方が適切にサービスを受けられるものであり、保険料引き上げの影響を強く受けるであろう低所得者の方々には軽減措置などの配慮がなされている。これらのことから介護予防事業をより強固にするためにも本案は妥当であると考える。

◆会派構成

会派名	会長	副会長	幹事長	会計	会員	
政和会	渡辺 俊	小野 徳重	森田 幸衛	森本 将司	天木 義人	坂上 隆夫
緑風会	渡辺 宏行	薄田 智	八幡 元弘	渡辺 秀敏		
		坂上 清一				
日本共産党胎内市議団	丸山 孝博				羽田野 孝子	
公明党	渡辺 栄六					
志政会	桐生 清太郎					

常任委員会審査

総務文教

胎内市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

消防団員数の今後の見直しに基づき、定員の見直しを行うとともに、団員確保に向けて処遇改善を図るため、団員の報酬額を引き上げるもの。また、消防団員に係る様々な退職報奨金、負担金は条例定数によるものとなっているが、定数と実団員数とに乖離が生じていることから、見直しするもの。

質問 団長や他の階級の報酬改定は実施しないのか。

答弁 今回は、団員のみの方定となっている。平成31年4月には団長、副団長は据え置いたが、分団長、副分団長、部長、班長、団員の報酬を引き上げており、団員は1万7千800円を今

回、総務省消防庁の通知を受け、2万円に引き上げる。

質問 今回の報酬の引き上げで団員確保に繋がるのか。また、近隣市の報酬額の現状は。

答弁 2万円の報酬額で団員確保は難しい状況であるが、学生の消防団加入制度なども活用しながら対応していきたい。近隣の報酬状況は、団長から団員までの県平均は2万2千円。当市の引き上げ後の平均額は、2万3千837円で県平均を上回る。

質問 消防団の組織見直しなどの考えは。

答弁 団員の減少に伴い、令和3年4月から大長谷、小長谷、鍬江、須巻、下荒沢、持倉、黒俣の18・19分団を18分団に統合する。



付託された他6件についても可決すべきと決定した。

厚生環境

胎内市介護保険条例の一部を改正する条例

第8期介護保険事業計画における令和3年度から令和5年度までの介護保険料について定めるもの。要介護者数や施設介護サービス量の増加等を踏まえ、介護保険料を約9%引き上げるとともに所得の少ない第1号被保険者に対する軽減措置は同水準を維持する。

質問 近隣自治体の状況は。

答弁 3年前には基金を1億1千800万円投入して据え置いた結果、県内で高い方から22番目であるが、今回は他の市町村の結果がまだ出ていないので分からない。

質問 介護保険事業で経費を削減する方策は。

答弁 介護予防や重症化防止の取り組みでは県内3位である。多角的な視点で国が示す地域支援事業に取り組んでいる。

胎内市手話言語及び障がいの特性に応じたコミュニケーションの促進に関する条例

手話が言語であることへの理解の促進と誰もが健やかに生きがいを持って暮らすことができる地域社会の実現を図るため条例を制定するもの。

質問 今後の取り組みについて。

答弁 養成講座、奉仕員派遣の利用促進等、市民が手話に接する機会を増やしていきたい。



3月18日 条例を可決し、記念撮影を行いました

付託された他4件についても可決すべきと決定した。

まちづくり

令和2年度胎内市地域産業振興事業特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額から、それぞれ1千149万1千円を減額し、その総額を2億8千772万2千円とするもの。天候等の影響により、加工用ぶどうの収穫量が少ない状況であり醸造用原材料費を減額し購入予定の醸造機械をリース契約に変更したため、備品購入費を減額した。

質問 ワイン用ぶどうが熊による食害、※べと病等により前年比で半分になったが、その対策を今年はとっているのか。

答弁 栽培主任の技術者が2月で退職した。管理が行き届いていない面があったかもしれない。山梨の醸造指導を受けている方に技術者を探してもらっている。

質問 スパークリングワインの需要はあるのか。

答弁 国内需要は伸びている。平成27年ころに千本ほど作った。沈殿物の除去が必要なため機器をリースする。



新潟フルーツパークのぶどう畑

付託された他19件についても可決すべきと決定した。

※べと病
葉の表面に淡黄色の斑点ができる。進行すると黄褐色になり枯れる病気。

～新型コロナウイルス対応～

市長へ申入書を提出しました！

胎内市議会では、「新型コロナウイルス感染症に係る市民及び事業者への一層の取組を求める申入書」を市長へ提出しました。

新型コロナウイルス感染症対策として、新たに開発されたワクチン接種に期待が高まっていますが、依然、市民生活と地域経済に深刻な影響を及ぼしていることから、市議会では市民や事業者の生の声を市政に届けるべく、福祉、商工会の方々と意見交換を行いました。

市議会として、感染予防、経済支援対策など11項目を取りまとめ、3月29日(月) 天木義人議長、渡辺栄六副議長が市長に申し入れを行いました。



正副議長から市長へ申入書を提出



商工会との意見交換会の様子

令和3年5月1日 発行責任者 議長 天木 義人

2021年 **議会の動き**

令和3年第2回定例会の日程(予定)

6月

- 4日 議会運営委員会
- 11日 本会議(初日)
- 16日 総務文教常任委員会
- 17日 厚生環境常任委員会
- 18日 まちづくり常任委員会
- 24・25日 一般質問
- 29日 本会議(最終日)

表紙の題字は

僕が、がんばっていることは、バスケットボールです。小学4年生から、「中条ミニバス」に所属しています。全国フリースロー大会では、チームで団結して2位になることができました。これからはがんばります!!



胎内小学校 6年生
坂井 隼人 さんの作品です。

表紙の写真

「胎内市の未来を担う子どもたち」

私の将来の夢は……

- 阿部 ^{かいと}海都さん (小6) 大工
- ^{しおり}汐里さん (小4) 保育士
- ^{りさ}里沙さん (3歳) キュアフォンテーヌ

FAX (0254) 4316111 (0254) 4417875

〒959-12693 新潟県胎内市新和町2番10号

印刷/株式会社エンジュ

胎内市議会 フェイスブック



市議会の活動や話題を発信していきます。ぜひ、ご覧ください。

行政情報発信アプリ マチイロ



「たいたい議会だより」をスマートフォン等からご覧いただけます。

本会議をライブ中継で配信中です!

本会議の様子をインターネットで生配信しています。パソコンやスマホ等で視聴可能です。また、本会議終了後には、録画映像の配信も行っています。ご視聴の際は、市ホームページ「市議会」をご覧ください。

市民との意見交換会の中止のお知らせ

開かれた議会の取組の一環として例年5月に実施している「市民との意見交換会」は、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、令和3年度の開催を中止することとしました。

また、今後開催予定の会議や意見交換会については、開催方法など慎重に協議し、議会だよりやホームページ等でお知らせします。



編集後記

今年は何十年振りかの大雪だったこともあり、より一層春の喜びを感じる事ができました。

ワクチン接種が始まり、コロナも希望の光が見えてきました。それにしても、遠くの家族や友人と当り前のようになれるということがどれだけ幸せなことなのかを今回改めて気づかされました。一日も早くみんなが当り前の生活に戻れることを願っています。

(渡辺 秀敏 記)